

2025 年 10 月 14 日

「鋭的胸腹部損傷における Hybrid ER での術前 CT の有用性とその限界に関する研究」

1. 研究の対象

2013 年 4 月～2025 年 9 月までに hybrid ER system (HERS) で対応した胸腹部穿通性外傷患者のうち、血行動態不安定で開胸または開腹手術を要した患者さん

2. 研究目的・方法

「目的」 鋭的胸腹部損傷に対する術前 CT の有用性と限界を後方視的に検討するため

「方法」 通常診療にて取得された、診療情報等を使用し、CT 施行までの時間、CT 結果が術式に関与したかどうか、negative exploration (ネガティブな探索) の回避があったか、CT なしで手術を施行した場合に見逃しがあった可能性の損傷 (小さな横隔膜損傷など) があったかを各症例ごとに検証します。

「研究期間」 倫理委員会承認後～2027 年 12 月 31 日

「利用又は提供を開始する予定日」 2026 年 12 月 1 日～

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診断名、年齢、性別、来院時 vital sign、血液検査結果、CT 所見治療内容、術式 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科

研究責任者：診療主任 大本亮輔

電話 06-6692-1201 内線 7944